

長岡市
1人1台端末の利活用に係る計画

令和7年3月31日

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

長岡市では、GIGAスクール構想で導入した児童生徒1人1台端末と、高速大容量ネットワークの効果的な活用により、長岡独自の教育体制「Edu-Diver構想」を推進し、個別最適化した学習の提供による総合的な児童・生徒支援を実現する。ICTを効果的に利活用した、多様な教育的ニーズに合わせた個別最適な学び、様々な価値観に触れながら学び合う協働的な学び、専門的・先進的に課題追究する探究的な学びなどを推進することで、子ども一人ひとりが自立し、主体的に物事を判断できる力を身に付け、新たな価値を創造していくことのできる人材を育成する。
※Edu-Diver：教育（Education）と多様性（Diversity）を組み合わせた名称

2. GIGA第1期の総括

国のGIGAスクール構想を受け、当市では児童生徒1人1台端末の整備が令和3年3月までに完了した。学習系ネットワーク・無線LAN環境について、普通教室をはじめ、特別教室や体育館など校舎内全域から児童生徒1人1台端末が接続できる環境が令和6年度末までに完了した（校舎改修中の学校等は除く）。
「自分に合った学び」「多様な関わりを生かす学び」「実体験を伴う活動的な学び」を展開する「授業イノベーション」を意識し、整備したICT環境を効果的に活用しながら「人生や社会に生きる確かな学びに向かう子ども」の実現を目指す中で、デジタルかアナログかの2項対立ではなく、授業場面に応じた効果的な端末の利活用について、学校・教員間での研修や日ごろの情報交換が進み、模索している教職員が多く、活用率は高い。ただし、学校間や教員間で意識やスキルに差がみられることは課題として考えられる。これまで同様に有用なICT活用にむけた活用事例を周知し、ICTに関する校内研修への講師の派遣、ニーズに応じた研修環境の整備を図る。また、校務DXの視点で業務の効率化や、教育データ利活用への対応を進めるべく、引き続き環境面の整備を進める。
また、長岡教育情報プラットフォーム「こめぶら」（以下「こめぶら」）を令和5年度より本格運用し、授業や児童生徒の興味や関心に応じて閲覧が可能な動画の公開は現在350件以上、家庭から体験イベントに申し込むことが可能な機能も有しており、公開は400件以上となっている。さらにはそれぞれ学校の特色のある学びの様子を動画閲覧できるカテゴリもあり、各校の学びの様子を動画で確認することができる環境が整っている。運用を継続し、児童生徒にとって「いつでも・どこでも・だれとでも」学びを届けられる環境の継続を図る。

3. 1人1台端末の利活用方策

前項「1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿」の実現のため、端末の整備・更新により、児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持していく。
なお、整備・更新した端末は、以下のような利活用を行う。

| 項目 | K P I | 現状値⇒目標値 | 方策 |
|----------------|--|---|---|
| 1人1台端末の積極的活用 | 毎年度ICT研修を受講する教員の率 | 全国 ：73.0% (R4) ⇒100% (R6) 長岡市 ：59.6% (R4) ⇒100% (R6) | ・研修のニーズの把握と実態にあった研修の実施と参加促進 ・短時間で実施する校内研修の奨励 |
| | 情報通信技術支援員（ICT支援員）の配置 | 全国 ：5.7校/人 (R3) ⇒4校/人 (R7) 長岡市 ：4.6校/人 (R3) ⇒4校/人 (R7) | ・ICT支援員配置拡充のための予算確保 |
| | 1人1台端末を週3回以上活用する学校の率 | 全国 ：小90.6% (R5) ⇒100% (R6) 中86.5% (R5) ⇒100% (R6) 長岡市 ：小92.6% (R5) ⇒100% (R6) 中96.3% (R5) ⇒100% (R6) | ・「こめぶら」におけるデジタルコンテンツの更なる充実 ・「こめぶら」、GBTの利活用等の端末利活用について定期的に周知し、学校訪問等の機会で開催 ・研修機会の充実 |
| | デジタル教科書を実践的に活用している学校 | 全国 ：40.5% (R4) ⇒100% (R10) 長岡市 ：86.1% (R4) ⇒100% (R10) | ・デジタル教科書の活用事例の共有 ・研修機会の充実 |
| 個別最適・協働的な学びの充実 | 児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校 | 全国 ：小44.9% (R5) ⇒80% (R8) 中36.1% (R5) ⇒80% (R8) 長岡市 ：小37.1% (R5) ⇒80% (R8) 中51.8% (R5) ⇒80% (R8) | ・「授業イノベーション」理解促進にむけた学校訪問による実態把握と指導助言 ・各校における活用状況等を定期的に周知 ・研修機会の充実 |
| | 児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校 | 全国 ：小46.0% (R5) ⇒80% (R8) 中44.4% (R5) ⇒80% (R8) 長岡市 ：小48.2% (R5) ⇒80% (R8) 中55.5% (R5) ⇒80% (R8) | |
| | 教職員と児童生徒がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校 | 全国 ：小53.3% (R5) ⇒80% (R8) 中49.4% (R5) ⇒80% (R8) 長岡市 ：小61.1% (R5) ⇒80% (R8) 中70.3% (R5) ⇒80% (R8) | |
| 学びの保障 | 希望する不登校児童生徒へ端末を活用した授業への参加・視聴の機会を提供している学校 | 全国 ：今後把握⇒100% (R8) 長岡市 ：今後把握⇒100% (R8) | ・第1期整備端末の有効活用及び第2期整備予備機の活用 ・配信用Webカメラや端末、モバイルルータ等必要物品の確認と予算確保・整備 |
| | 外国人児童生徒に対する学習活動等の支援に端末を活用している学校 | 全国 ：今後把握⇒100% (R8) 長岡市 ：今後把握⇒100% (R8) | |
| | 障害のある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を要する児童生徒の実態等に応じて端末を活用した支援を実施している学校 | 全国 ：今後把握⇒100% (R8) 長岡市 ：小81.5% (R5) ⇒100% (R8) 中85.1% (R5) ⇒100% (R8) | |